



# 山行報告書

日時	2024年5月2日(木)～4(土)		天候	晴
山名	唐松岳、五竜岳			
CL	ヒデ	参加者	N澤、T中	
HP記載の有無：				
(コース)	<p>1日：香椎17:40～(車移動)～八方第3駐車場                  2日：八方第3駐車場8:30～(シャトルバス無料)～八方駅～(ゴンドラ・リフト)～八方池山荘                  9:30～10:08八方山～12:36丸山ケルン～13:53唐松岳頂上山荘14:36～14:51唐松岳                  15:15～15:28唐松岳頂上山荘                  3日：唐松岳頂上山荘5:00～6:42大黒岳～8:41白岳～8:52五竜山荘9:01～10:58五竜岳                  11:41～五竜山荘                  4日：五竜山荘6:00～6:15白岳～8:35大遠見～11:48地蔵の頭～12:20アルプス平駅～                  (ゴンドラ)～とおみ駅～エスカルプラザ～(タクシー)～八方第3駐車場</p>			
(コメント)	<p>&lt;2日&gt;                  ゴールデンウィーク後半。天気予報は5日までは快晴の予報。駐車場までの移動中に車内からアルプスの山々が見えテンション上がる。ゴンドラ・リフトを乗り継ぎ八方池山荘より入山。事前の情報で雪が少ないのは分かっていたが思った以上に雪がなくしばらく夏道状態。気温も暖かくオーバーも脱ぎ手袋も外した。(外したせいで手首から真っ黒に日焼けし下山後しばらく恥ずかしかった)第3ケルン過ぎたぐらいから雪がありその後斜面が急な所でアイゼン装着。唐松岳頂上までは標高差857mありずーっと登り。標高2600m超えると体が重くなり空気も薄く感じた。(軽い高山病なのかな)唐松岳頂上山荘も雪がなく山荘から唐松岳の間もアイゼン使わず登れました。天気も良く無風で頂上からの眺望も最高でした。唐松岳頂上山荘はゴールデンウィーク期間は営業しており売店・トイレ使えます。ちなみに缶ビール350mlが800円。2本飲んだ。</p> <p>&lt;3日&gt;                  山荘を5時出発。上のオーバーを着るか迷ったがとりあえず着て出発(それぐらい暖かった)。しばらくはアイゼンなしで問題なく歩けた。すぐに熱くなり衣服調整でオーバーを脱ぎました。途中下りの斜面で雪がありアイゼン装着。その後はアイゼン装着・外すを何回か繰り返し五竜山荘に到着。五竜山荘までは危ない箇所はありません。五竜山荘のテント場も雪はなくテント設営後、五竜岳へ。スタートが少し遅く山荘を9時に出発し11時ぐらいに五竜岳に着いたので頂上手前の雪の急斜面は暑さで雪が緩んでる所がありピッケル・アイゼンで慎重に登りました。頂上では気温も暖かく無風だった事もあり眺望を十分に満喫しました。下りは雪が緩んでいる箇所は安全第一でザイルを出し懸垂下降で下り五竜山荘には昼過ぎに到着。五竜山荘は営業していません。日差しが強烈で気温も高くテントの中にもおれず周りには日影もなく真夏の近所の公園か？とツツコミたくなる程暑かったです。山荘が営業してないのでトイレは使えず、どこからも丸見えて隠れるところがないのでトイレが困りました。特に女性は困ると思うので携帯トイレがあるといいかもです。</p> <p>&lt;4日&gt;                  山荘を6時出発し白岳頂上まではアイゼンなし。白岳から遠見尾根側を下る斜面が下から見るとそうでもなかったが上からだとまあまあ急で雪も凍ってアイゼン装着し慎重に下りました。遠見尾根は雪もしっかりありアイゼンで快適に下れました。所々テント泊出来る箇所があり五竜山荘よりも快適に泊まれそうです。この日は3日間の中でも1番熱くかなり水を飲みました。下山後はエスカルプラザからはバス等の公共交通機関はないので注意が必要です。(冬のシーズンはバスがあるそうです)3日もとも天気に恵まれ最高の山行となりました。</p>			
				
				
費用概算	ゴンドラ・リフト：八方駅～八方池山荘1,900円(片路/人) :アルプス平駅～とおみ駅1,400円(片路/人) テント泊代：2,000円(1張り)、2,000円(人) タクシー代：エスカルプラザ～八方第3駐車場2,800円(台)			